

2022年8月30日  
在グアテマラ日本国大使館

公開情報のとりまとめは以下の通り。

## 1 内政

### （1）ソロラ県での土地境界線を巡る対立

1日、ソロラ県ナワラ市と土地を巡り住民間の抗争があるサンタ・カタリナ・イシュタワカン市で、警備に当たっていた軍関係者2人が移動中に襲撃を受け負傷した。4月29日には、ナワラ市長が銃撃を受けていた。

### （2）ロペス農牧食糧大臣の不逮捕特権の剥奪請求

12日、検察庁無処罰問題対策専門局（FECI）は、詐欺行為、マネーロンダリング、違法結社の疑いで元農牧食糧大臣を含む14人へ逮捕状を請求し、併せてホセ・ロペス農牧食糧大臣の不逮捕特権の剥奪請求を行った。

クルチチェ FECI 局長によると、同捜査は、2019年8月の米国土安全保障省の国家安全保障捜査当局（HSI）からの通告によるもの。事件の概要は、アソデフィール協会（地方コミュニティを対象とした金融サービスの開発・促進を行う当地 NGO 団体）が実施する地方地域住民向けの金融サービス促進活動のために、USAID が100万ケツアル（約13万米ドル）を寄付したが、同協会の銀行口座で異常な資金運用が行われたというものであった。

### （3）コンスエロ・ポラス検事総長の再任

16日、ジャマテイ大統領は検事総長任命式典において、昨年9月に米政府が汚職関係者リスト「エンゲル・リスト」に掲載したコンスエロ・ポラス検事総長の再任を発表した。

同日、米務省は、「政治的協力者を庇護し不正な政治的利益を得るため、ポラス検事総長は汚職行為に関与し反汚職捜査を妨害及び弱体化させた。グアテマラの民主主義を弱体化させる汚職と闘うという米国のコミットメントを再確認する。」と発表した。加えて、ポラス検事総長の配偶者ヒルベルト・デ・ヘスス・ポレス氏を汚職・反民主主義関係者リストに追加した。

なお、週末にあたる21日、国立文化宮殿前でポラス検事総長再任を反対するデモが行われ、約700人が参加した。デモは平和裏に行われた。

### （4）国連人権高等弁務官事務所による当国人権状況に関する報告書の発表

国連人権高等弁務官事務所（OACNUDH）が11日、当国の人権状況に関する報告書を公開した。同報告書によると、グアテマラの人権状況は複数の課題に直面しており、主な問題点は、①ジャーナリストへの執拗な追跡、②人権擁護家や社会運動への抑圧、③ガバナンス、④人権、⑤司法の独立、であった。

## 2 内政（新型コロナウイルス関連）

### （1）グアテマラの感染状況

検査実施数が少ない週末・祝日の一時的な低下を除き、5月は全体を通して新規感染者数は約700～800件/日で推移した。前月に比べると感染者数が減少し、病床使用率は平均3%を維持した。

### （2）「アラート信号」システム

期間	赤	橙	黄	緑
4月18日～5月1日	15市	184市	141市	0市
5月2日～15日	14市	149市	177市	0市
5月16日～29日	1市	104市	232市	3市
5月30日～6月12日	5市	99市	233市	3市

注：2020年7月27日から開始された「アラート信号」システムに関する詳細は当館HP ([https://www.gt.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/border20200331.html](https://www.gt.emb-japan.go.jp/itpr_ja/border20200331.html)) を参照。

### （3）ワクチンの到着

25日、COVAXファシリティを通じた購入により、ファイザー273,780回分が新たに到着した。

### （4）収容人数等に関する規定の緩和

11日、12日及び13日、保健省は、新型コロナウイルス感染症の状況の改善に伴い、現状に即した規制の制定及びポスト・コロナに向け、アラート信号システム及び衛生規定を一部緩和する政令を発行した。主な変更点は、リモートワーク推奨の廃止、各施設の収容人数制限の廃止、マスク着用義務に関する規定の緩和（警戒レベル「赤」では屋内外でのマスク着用は引き続き義務、「橙・黄」については「屋外」は着用義務の廃止、「屋内」は着用を推奨、「緑」は着用義務廃止）、ソーシャル・ディスタンスに関する規定の緩和（警戒レベル「赤」では1.5mのソーシャルディスタンス維持は義務、「橙」では1.5m維持を推奨、「黄・緑」は義務廃止）。引き続きアラート信号システム、手指の衛生維持は継続して有効。また、これにより各施設や公共の場での収容人数及び営業規定に関する過去の政令が廃止された。

### （5）アストラゼネカ・ワクチンの使用期限切れ

31日、923,280回分のアストラゼネカ・ワクチンが期限切れを迎えた。2,978万ケツアル（約386万米ドル）の損失に値する。これに伴い、31日時点で国内で使用可能なワクチンはファイザー約36万回分のみとなった。

なお、5月31日までにグアテマラでは約778万回分のコロナ・ワクチン、約4.6億ケツアル（約5,900万米ドル）が期限切れとなった。スプートニクVが一番多く約482万

回分、次いでモデルナ約153万回であった。

### 3 外交

#### (1) ブカロ外相の SICA-CARICOM 外相会合への参加

3日、ブカロ外相はパナマで開催された SICA-CARICOM 外相会合に出席した。同外相会合では、ベリーズで3月に開催された SICA-CARICOM 首脳会合での決定事項のフォローアップが行われた。また、プログラムの一環として、ジョセップ・ボレルEU外交・安全保障上級代表兼欧州委員会副委員長と SICA 加盟国及び CARICOM 加盟国の外相らによる会合が行われた。

加えて、ブカロ外相はスリナム、ジャマイカ、トリニダード・トバゴと二国間外相会合を開催した。

#### (2) ブカロ外相とウクライナ外相との電話会談

5日、ブカロ外相はクレバ・ウクライナ外相と、相互利益及びに二国間関係の強化に取り組むため電話会談を行った。なお、2022年2月2日には両外相の最初の会合が行われていた。

#### (3) ロペス・オブラドール墨大統領の当国訪問

5日及び6日、ロペス・オブラドール墨大統領が当国を訪問しジャマテイ大統領と会合を行った。同会合では、二国間アジェンダの優先課題、経済統合及び地域の繁栄の促進、不法移民の構造的要因を減らすための共同アクションや、開発のための協力計画の強化について協議された。なお、ロペス・オブラドール墨大統領は当国訪問後、エルサルバドル、ホンジュラス、ベリーズ及びキューバを訪問した。

#### (4) ジャマテイ大統領による米州首脳会議への不参加表明

17日、ジャマテイ大統領は当地墨大使とイベントに参加した際、6月に米国で開催される米州首脳会議 (la Cumbre de las Americas) に言及し、同会議への不参加を表明した。

#### (5) ジャマテイ大統領によるバイデン政権批判とUSAID撤退の可能性に関する発言

4月末に行われた米・ヘリテージ財団によるジャマテイ大統領へのインタビューが26日公開された。同インタビューで、ジャマテイ大統領は、バイデン政権はジャマテイ政権の不安定化を図っていると批判し、USAIDの撤退要請の可能性について発言した。

なお、大統領府社会広報庁は、インタビュー記者と大統領の会合を認めたが、USAIDへの撤退要求に関しては触れず、「同会合ではグアテマラ国内でのウィーン条約違反に関する課題について話し合われた。また、通訳の過程で各用語の翻訳に異なる解釈が生じた可能性がある。」と述べた。

30日、ブカロ外相は、記者から「USAIDを撤退させることを考えているか」との質問を受け、「我々は米大使館と共同で取り組んでおり、この新しい危機において必要とする最

も効果的なプログラムを優先し確立するため、チームで取り組んでいる。」と回答した（USAID撤退については言及せず）。

#### （7）ポップ駐グアテマラ米大使によるUSAID撤退要請の否定

31日、ポップ駐グアテマラ米大使は、グアテマラ市内の地域治安向上のためのコミュニティー・キオスクの開設式に出席し、「米国は、USAIDや米務省国際麻薬・法執行局（INL）を通じ、グアテマラ政府と様々な活動に共に取り組み続けている。」と述べた。グアテマラ政府がUSAIDの撤退を要請したか、という質問に対し、「USAID撤退について、何の要請も受けていない。本日発表した支援も含め、我々は日々取り組み続ける。」と発言した。

## 4 経済

### （1）4月の海外家族送金の発表

4月の海外からの家族送金は過去最高額を更新し、15億米ドルとなった。GDPの18%に相当。過去14ヶ月間に亘り、毎月の送金額が10億米ドルを超えている。

### （2）グアテマラ米商工会議所とグアテマラ商業会議所の協力協定

11日、在グアテマラ米商工会議所（AmCham）とグアテマラ商業会議所（CCG）が投資招致、透明性の確保、港湾及び主要インフラの改善等を目的とする協力協定に署名を行った。同署名にはポップ米大使が同席した。

◇主要経済指標◇	2022年			2021年	2020年
	5月	4月	3月		
インフレ率（前年同月比）	5.82%	4.62%	4.17%	4.28%	3.21%
貿易収支（百万ドル）	△1,402	△1,378	△1,306	△12,987	△6,692.3
輸出（百万ドル）	1,406.7	1,322.8	1,558.6	13,620.7	11,514.2
輸入（百万ドル）	2,809.4	2,700.9	2,865.3	26,607.8	18,206.5
外貨準備高（百万ドル）	20,986.7	20,843.7	20,763.5	20,939.6	18,468.2
外国からの送金（百万ドル）	1,592.5	1,516.1	1,493.1	15,295.7	11,340.4
為替レート（対ドル月平均）	7.68	7.67	7.68	7.73	7.72

（出典：中銀、国立統計院）